

令和5年度学校評価報告

				4	下高井農林高等学校
評価項目	項	自己評価	学校関係者評価	評価点	次年度に向けた改善策
進路指導	計画的な進路指導とキャリア教育の充実	1 本年度は春と秋、2回のインターンシップを滞りなく実施することができた。進路ガイダンスや企業説明会など、コロナ禍以前のイベントが復活した。各学年でガイダンス等への参加を計画的に進め、生徒の情報収集の機会を増やすことができた。	・進路を本格的に考える3年生の学習評価アンケートでの満足度が高くなっていることから評価できる。 ・インターンシップの実施は良かったと思う。今後も情報収集の機会を増やし、計画的なインターンシップの充実をお願いしたい。 ・毎年多くの生徒が希望した進路に進めていると思う。	4.3	各学年でのインターンシップや進路ガイダンス等を計画的に進めるとともに、生徒が主体的に学校情報や企業情報を得るように促したい。関係機関や企業と連携しながら、生徒の柔軟な対応力や創造力を育むキャリア教育を実践していきたい。
	進路相談の充実	2 コロナ禍で実施した本校独自の高校内企業説明会を、昨年に続き本年度も実施した。同会で説明を聴いた企業へ10名を超える生徒が内定をいただき、大きな成果を得た。ICTの活用は昨年よりもさらに幅を広げ、指導の効率を上げるだけでなく、より丁寧な個別指導の時間を作ることができた。	・個別指導の機会や時間を多く実践し、生徒の進路についてよく指導していただけた。春には進路に進っていた3年生も、夏にはしっかりと自分の進路を決めていた。 ・情報収集に力を入れていただいていることが良くわかった。今後も生徒に対し最大限の進路相談をお願いしたい。	4.3	進路指導におけるICTの活用は、まだ多くの可能性を秘めている。生徒への連絡や、履歴書の添削指導に留まらず、受験報告書の電子化など、引き続き活用方法を研究したい。
授業展開	個に即した丁寧な授業指導	1 ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けて、年2回の授業アンケート実施、研究授業や校内授業参観週間を通して、生徒の興味・関心を高める授業改善を目指した。	・授業参観をさせていただいたが、生徒のやる気を感じられた。 ・授業アンケート（前期）から推定すると、概ね丁寧な指導はされていると評価できる。 ・個々の生徒の授業に対する関心が高まったことを評価する。 ・2年生に進級できない生徒が少し多かったのが残念である。	4.0	効果的なICTの活用法や生徒個々の状況に応じた学びの充実に向けて、校内での研究授業・授業参観での情報共有や研修等を通して、よりよい授業づくりを目指して研鑽を続けた。
	専門学習・資格取得の充実	2 専門学習の充実が課題研究の成果として表れ、地域からも高い評価をいただいた。資格取得では計画的な展開ができ、多くの生徒が積極的に資格を取得した。	・学校評価アンケート満足度から判断すると資格取得について評価できる。資格取得は農林ならではの特色ではないだろうか。引き続き積極的な資格取得の継続を願っている。 ・社会ニーズに即した課題抽出が大切かと思う。 ・フォークリフト、移動式クレーンをはじめ、様々な資格取得に力を入れていると思う。 ・資格の取得は生徒に学習の成果を得られやすいので、さらに充実させていきたい。	4.7	地域行事やイベントへの積極的な参加から、地域の方々との情報交換や意見交換により、地域の課題やニーズを把握し、更なる専門学習の充実に努めたい。 資格取得は、積極的な取得を今後も継続して進める。
生徒指導	基本的生活習慣等の確立	1 基本的生活習慣・授業規律の確立、問題行動の予防、交通安全意識の向上を主に指導を行っている。ほとんどの生徒が挨拶から始まり、ルールを守り、規律正しい生活が出来ていると感じる。例年通り、服装・頭髪の指導、朝と昼の立ち番、授業中の巡回指導も全職員で取り組んでいる。生徒は落ち着き、真面目に高校生活を送っている。	・基本的生活面ではしっかりできている。あいさつも会話をしてくれるのでうれしく思う。 ・生徒の落ち着き、まじめさは、定着してきている様子が見える。 ・今年度は、学校内のトラブルが若干多かったと感じられる。	4.0	・挨拶や、時間を守るなどの基本的生活習慣は継続的に指導する。 ・交通安全意識の向上をはかり、特に自転車乗車時のヘルメット着用については、努力義務化に伴い着用を強く指導していく。 ・服装や頭髪に関して、違反生徒への注意を怠ると、全体的に規範意識が薄くなり乱れていくので、継続的に指導していく。 ・SNSに關係し、友人トラブルに発展することもあるため、常に注意することが大切である。
	個に即した丁寧な生徒指導	2 問題行動の発生時や、友人トラブルやいじめなどの訴えに対し、全職員が情報共有をし、迅速に個々の事案に応じた的確な対応を行えた。SNS等での問題行動にも、個々に事の善し悪しを伝えながら指導することができた。	・問題行動については、大変ではあるが、地道にご指導いただければありがたい。問題行動を見逃さないよう、更なる気配りをお願いしたい。 ・小規模校ならではの指導ができていると思う。また、学校内外での生徒の挨拶はとても良い。 ・出来るだけ問題行動を未然に防ぐ対応をお願いしたい。	4.2	・生徒の多様化に伴い配慮を要する生徒が増加傾向の中、個々の問題行動に対する指導は、生徒の特性に配慮しながら、慎重に速やかにかつ丁寧に行う必要があり、生徒支援との密かな連携が重要である。
健康安全指導	感染症対策の実行	1 感染症予防対策を徹底するため、保健委員会による校内放送を行い、生徒の予防意識の継続を図るとともに、その実践に結びつけた。また、行事ごとに計画と内容を検討し、学校一丸で環境整備に取り組んだ。	・感染予防対策は、しっかりできていたと思うが、まだまだ心配な状況なので、続けて感染予防に努めてほしい。 ・対策の徹底は大変だと思うが、まだ終息したわけではないので、引き続き対策に取り組んで欲しい。	4.5	・感染症予防対策に関する情報収集を進め、生徒及び保護者への情報提供を継続し、感染拡大防止に努める。並行して感染予防のための環境整備を継続するとともに、生徒会が主体となって全校に感染防止を呼びかけるなどの啓発活動の充実を図る。
	安全教育的充実	2 GAP学習やHACCP学習、農業機械の授業等を通して、危険箇所の改善や危害分析および作業者の労働安全について学び、安全管理や衛生管理について理解を深めることができた。	・調理や加工する際には、安全・衛生面は重要課題であり、食中毒への対策も必要なので、十分心を得るべきである。GAP、HACCPは、学習において重要性の意識付けを引き続きお願いしたい。 ・防災訓練も計画的に実施して欲しい。 ・雨天時は実習を行わないなど安全対策は良かったと思う。	4.3	今後もGAPやHACCPの学習を継続するとともに、あらゆる場面で安全衛生教育に触れ、リスク管理の重要性と必要性について、生徒自身が理解を深められる授業を行う。
教育支援	生徒相談の充実	1 全職員が生徒情報を共有し、生徒や保護者からの相談に丁寧に対応できた。外部専門家と交えたスクリーニング会議、支援会議等を毎月開催し、支援体制の充実に努めた。声掛けや学校生活アンケートから困り感のある生徒を見出し、早めの対応を行った。カウンセリングは毎月希望者に行っている。	・大変良い試みだと感ずる。職員では対応できない場合もあると思うので、専門の方によるカウンセリングは大人に活用すべきだと思う。 ・いじめに対しては、とてもスピーディな対応でよかった。 ・デリケートな案件であるため、今後も早めの対応を願っている。	4.2	外部専門機関との連携をより深め、アドバイスをいただながら、生徒の学校生活充実を図る。また、生徒が相談しやすい雰囲気作りを心がけ、普段の対応を丁寧に行う。
	学習支援の充実	2 特性上必要な生徒に対し、試験問題の漢字ルビ振りを行った。ICTを活用した授業を工夫し、取り組みやすい内容展開を心掛けた。また、各教科ごと丁寧な補習を行い、基礎学力向上に努めることができた。	・このような計らいを実践していただくと、生徒もやる気が出ると思うし、ありがたいことだと思う。 ・今後も丁寧な対応をいただきたい。	4.2	個々の特性を把握し、教科毎の学習支援を丁寧に行うことで、生徒の自己肯定感向上を図る。安心して学習に取り組める環境を整備し、保護者の心配にも寄り添った対応ができるように努める。
	生徒の自主活動の充実	3 地域の景観を守るためのボランティア活動を生徒会・農業クラブが連携して企画し、学校や地域に参加を呼び掛けることでより多くの生徒が活動に取り組むことができた。また、数年ぶりの一般公開を含めた農林祭の実施に向け、安全面に配慮をしながらイベントや企画の考案や運営に努めた。自主的な活動の経験が大きな達成感を生み、更なる活動の活性化や自主性の向上に繋がった。農業クラブ県大会ブロック発表会で最優秀賞に輝き、北信越ブロック大会へ出場するなど、自主的な農業クラブ活動の充実が成果となり、更なる活動の活性化や自主性の向上に繋がった。	・他県から来る方々のことを考えると、景観は美しい事が良いに限る。その景観の美しさを保つのも地道な作業といえる。 ・農林祭の一般公開（時短ではあったが）できてよかった。 ・各種大会での優秀な成績に誇らしく思う。 ・地域の活動はケーブルテレビ等でも伝えられ「農林らしさ」がしっかりと表れたと思う。 ・農業クラブ活動は実業高校ならではの活動なので、これからも頑張ってほしい。 ・学校外での生徒のボランティアが、とてもよかった。 ・自主的な活動、中々できるものではないと思う。今後も期待している。	4.7	生徒会全般について、自主自立の精神を重んじた活動を継続させたい。校外でのボランティア活動等についても、地域や近隣校の生徒会とも連携を深めながら、活動の継続や内容の発展を目指したい。 ボランティア活動等に地域に呼びかけ、更に充実した活動となるように「農林らしさ」を大切にしながら取り組みを継続する。
開かれた学校づくり	学習成果の発信	1 本校ホームページやSNS、月1回発行の農林だよりにて積極的に情報発信した。近隣中学校により2回訪問し、本校の魅力をPRした。本年度も各メディアにおいて本校の取り組みが数多く取り上げられた。	・ホームページを見たりしている。学校のことがわかり、良い事である。 ・近隣中学校へのアピールをさらに充実させてほしい。 ・SNSの配信で多くの人に農林高校のことを知ってもらえたと思う。 ・月1回の農林だよりの発行は大変だと思うが、継続してほしい。	4.3	本校の特色・魅力を広く伝えられるように、各教科、生徒会、クラス、クラブ等での活動や学びの成果など、より多くの情報をSNSや農林だより、学校訪問を活用して今後も積極的に発信を続けていきたい。
	地域連携と地域貢献の推進	2 年間をとおして、充実した地域連携や地域貢献の取り組みを実施することができ、地域の話題として、マスコミ各社に多く取り上げていただいた。また、昨年に引き続き、道の駅「ファームス木島平」で農林市を開催し、地域に開かれた取り組みを継続することができた。	・積極的にカリキュラムに取り入れ、地域課題について考え、学ぶ機会の確保ができている。 ・農林市等「ファームス木島平」の活動をさらに進めていただきたい。「がんばれ農林高」 ・農林市だけではなく普段からとても地域に密着したとて良い高校だと思う。 ・地域連携、地域貢献頑張っていると感じられる。	5.0	今後も地域と積極的に関わりながら地域の課題を知り、その課題に取り組める体制の構築を目指す。1年生の北信越県において、積極的に地域と関わる中で、地域連携・地域貢献の種を生徒の心に植え付け、2年生のコース授業で知識・技術を養い3年生での地域連携・地域貢献の実践に繋げたい。